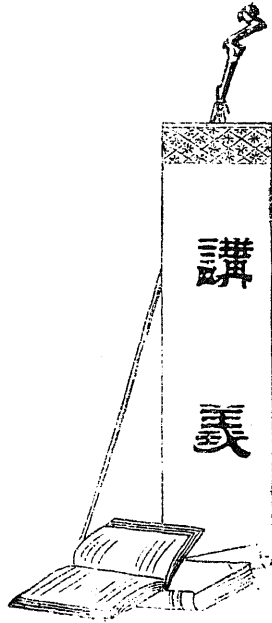


悪臭ある瓦斯の心より發出することは随分目撃せらるるであり、此の瓦斯の性質等は餘り長くなりましますから、一度は措きませんが、この瓦斯は人肺に有毒です、故に消燈のときは急に吸ひ消すことなく、次第に火を小にして自然に消ゆる様にして消すことが最も肝要であります。



兒童研究法

文學士

松本孝次郎講演

覺

觸覺は、外物に觸れて、觸れたといふことを知

る感覺であります。此感覺は、胎兒の間からあつてあらうとの説であります。何故ならば、母体と兒体は觸接して居りますから、此時分から觸覺が發達して居るであらうといふのです。

今より五十年前獨逸のハイデルベルヒの醫クスモール氏が、生れたての兒二十七人に付て、生れたての時の感覺を實驗されました、氏の實驗は次の通りです。即ち兩端の圓くなつて居る硝子の棒を、兒の舌に觸れると、其觸れる場所に由て其兒の様子がちがひます。即ち棒を舌の上前の方に觸れると、舌は兩端からまくれ上り棒に吸ひ付く様な風になり、又舌の下後の方に觸れると、舌をのばし口をわけます。

この様に觸れた場所に由て兒の様子がちがふのを見ると、確に生れたてから觸覺がある、といふ

ことが分ります。氏の説によると生れたての兒の觸覺の最も鋭いのは上下の唇であらう。何故ならば、どんな物でも唇にさはると直に吸ひます。又小兒は二才から手を吸ひます、玩具でも吸ひます。之は觸覺の鋭敏な所に持て行て、其物がどんなものであるかを知らうとするのであります。即ち盲人が或物に觸れて、觸覺に由てそれが何物であるかといふことを知るので、同じ様な譯であります。又氏は小兒の小さい時は、睫が觸覺よりよく眼を保護すと言はれました。氏は紙を細く巻いて口にくはへ小兒の皮膚に呼吸をかけるなど他の所よりも睫の所に呼吸をかけた時に直ぐ感じて瞬きをする又ガラス棒を角膜に觸れても瞬きをしないのに、睫に一寸でも觸れると直に瞬きをする。そうすると睫は觸覺を以て眼を保護するもの

であります。丁度昆虫の觸鬚のやうなはたらきをします。又氏は月足らずの兒(八ヶ月位)でも、生れたてに觸覺がある。之を見ても胎内で已に觸覺があるといふことが分ると言はれました。

觸覺の研究上注意すべき事

通常小兒は鼻の兩側面中いづれか一方に觸れると、其側の眼を閉づるものであります。そうしてもし鼻頭に觸れらるゝ時は、兩眼を閉づるものであります。之に反して鼻頭をたゝき、又は唇をたゝく時は、屢大に眼を開くものです。初め小兒の皮膚に堅く尖りた鉛筆を觸れても之に感じない、そうして何時頃から、かゝる觸覺に對する運動がはじまるものか。

小兒は初ある觸覺に對しては只泣き叫ぶのみであるが、後になると防禦的の運動をするやうにな

る。そうして之等は何時頃よりはじまるか。幼兒は、額、鼻又は頬に觸れらるゝ時は、睡て居つても醒めるか。又はどんな運動もせずに睡て居るか

羽を唇に觸れると、幼兒は之に應ずる運動をするものであります、そうして此際どんな運動をするか。もし小兒の好まぬ刺戟を與へらるゝと頭を他に轉ずるやうになる、かゝる舉動は何時頃よりはじまるものか。蹠に觸ると足の指をのばすか。又は之を屈するか。手の表面に觸ると手を閉づるや如何、又之を睡眠中に試みると、どんな結果があるか。又年齢と共にかゝる事柄に付ては、如何なる變化があるか。

觸覺の教育上注意すべき事

觸覺は物体の性質を認むるのに益があります。

ですからなるべく發達させなければなりません。

盲人が觸覺が鋭敏であるのは、全く練習に由るのでありますから、普通の人でも練習すれば鋭敏になるものであります。

觸覺の如何に由て、精神の疲勞の度を知ることができます。即ち兒童は、學科の種類、時刻等に由て其疲れ方がちがひます。此疲れ方を、觸覺で試験することができます。即ち兩脚規の兩脚をひろげて、身体の或部分に觸れると其觸れて居る處は二點であるのに、一點と感ずることがあります。此場合に段々コンバスの兩脚をひろげて、確に二點であることを感覺した處にするしをつけて置いて、一時間の學科をしたあとで、前の通り同じ所で試して見ても、正しく二點と感ずることはできません。

學校が七時にはじまる時は、七時から八時の間

はげんやりして居る兒が澤山あります。之は遠方から來るためのもあります。朝早くから起きて、睡眠不足のためのもあります。之は觸覺の試験でよく分ります。ですからあまり遠方の學校に通はせたり、又學校が朝あまり早く授業をはじめたりするのはよくありません。このやうな場合には、八時と九時の間が、七時と八時の間よりも、却て精神が活潑なものでありますから、第一時には第二時よりも容易な學科を課するのがよろしい。又最も疲れるのは四時間目位であります。ですから此時も易い學科を課する方がよろしい。そうして其後はいよゝ疲れることが甚しいかどのふに決つてさうではありません。五時間目位には勢力を恢復することが常であります。そうして神經は、割合に筋よりも疲れにくいものであります。

温覺

此感覺は胎兒の内よりあるといふ説が多くあります、即ち母体の或部分が冷えると胎兒は運動する。又分娩せられて冷氣に觸れた時には、直に色が變り、泣き、又直に湯にて温を與へると、赤くなるのを見ても分ります。

温覺の研究上注意すべき事

あまり冷たき水か又はあまり熱き湯で沐浴せらるゝと不快の様子をあらはすのは何時頃よりはじまるか。又其温度を精密に記して置くのがよろしい。

凡そどんな温度からどんな温度に至るまでの間が、小兒の最初の生活、中快感の有様をあらはすか、小兒は、あまり温き牛乳、又はあまり冷たき牛乳を飲ませると泣くことがあるか。又温き

フラスコを着せると泣くか。どんな温度の牛乳を好むか。其温度を確定するがよろしい。又冷たきものに觸れた時に、其顔に變化をあらはすのは、何時頃よりはじまるか。小兒は屢手足の冷たきにも拘らず、不快の様子をあらはさぬものです、かういふことは、ひどく手足の冷たい場合でもさうであるか。

温覺の教育上注意すべき事

之は幼兒の發育上注意すべきことであります外國では、學校に湯を設けて、生徒に入浴させる計畫もあるが之は管理上では随分六かしいことです。が併し要するに兒童の皮膚を清潔にし、皮膚病を防ぎ、排泄の作用をよくし、皮膚を強くし。氣候の變遷に侵されぬやうにするといふことは必要であります。一 體兒童は活潑なもので、寒氣に

さらされて遊ぶものですから、何時でも適當な温度の處に置くといふことはできません。ですから寒氣に堪へ得るだけに、皮膚を鍛練しなければなりません。之には冷水浴がよろしい。又少し大きくなれば、游泳がよろしい。ニューヨークでは、游泳が盛で町々に游泳場の設けられています。

游泳は皮膚の爲、れよぎ方、海事情想などの諸點に効があります。日本では用心深くてあまり奨励しませんが、之は適當にはげましたいものであります。

